

施策評価(平成30年度)

1 基本項目

基本目標	4	ひとと環境にやさしい安全で快適なまち
基本施策	2	自然と調和した安全で快適な都市の形成
施策	28	公共交通
基本方針		
市民生活の利便性を向上し、だれもが安全で自由に行動できる公共交通の充実を図ります。		

2 事後評価結果

計画事業名	進捗状況	妥当性 (必要性)	効率性 (手法)	有効性 (成果)	今後の 方向性
コミュニティバスはむらん運行の充実	計画どおり完了	A	A	S	現状のまま継続

3 施策評価結果

<p>施策28「公共交通」では、1事業について評価を実施した。</p> <p>進捗状況については、「計画どおり完了」であり、滞りなく履行されている。</p> <p>事業における妥当性(必要性)、効率性(手法)は、A(適切なもの)と評価しており、有効性(成果)については、年々利用者が増加していることや新規にバス停2か所を設置し、利用者の利便性の向上を図ったことから、S(より適切なもの)と評価している。</p> <p>本施策の基本方針は、「市民生活の利便性を向上し、だれもが安全で自由に行動できる公共交通の充実を図る」ことであり、「コミュニティバスはむらん運行の充実」においては、ルート見直しやバス停の新設、ベンチの設置などに努めてきたことにより、年々利用者が増加しており、上記の取組みを通じて、施策に掲げた基本方針の達成に向けて着実な推進が図られているものと評価する。</p>

平成30年度 【基本シート】

1.基本項目		作成部署	都市建設部			都市計画課
事業名		開始年度	実施期間	事業種別	運営手法	プロジェクト
00 コミュニティバスはむらん運行の充実		平成 17 年	継続	自治事務(市独自)	その他	○
01		年				
02		年				
03		年				
04		年				
05		年				
関連課						
基本目標4 ひとと環境にやさしい安全で快適なまち		施策区分	28	公共交通	管理No.	139

2.事業の概要

施策の基本方針	市民生活の利便性を向上し、だれもが安全で自由に行動できる公共交通の充実を図ります。
事業内容	運行ルートの見直しによる交通不便地域の解消、自動車運転免許を持たない方や高齢者などの交通弱者に対する利便性の向上など、利用者やコミュニティバスはむらん運営推進懇談会の意見を聴きながら、運行の充実を図ります。
根拠法令	
条例	
要綱等	羽村市コミュニティバス運行事業協定書

3.実施計画

Plan【計画】	平成29年度(現況)	3か年計画		
		平成30年度	平成31年度	平成32年度
事業内容 事業量等	懇談会の開催 3回 委員の改選 任期2年 バス停ベンチ設置 2件 (川崎公園・天竺運動公園)	同左 3回	同左 3回 委員の改選 任期2年 バス停ベンチ設置 2件 (設置個所未定)	同左 3回 同左 2件 (設置個所未定)

4.投入指標(成果の達成、及び活動するために投入する資源【ヒト・モノ・カネ】)

①年間業務時間(人件費の目安) 【事務執行に要する人数と1人当たりの年間業務時間】

職層・職種別	平成29年度(現況)		平成30年度		平成31年度		平成32年度	
	人数	概算時間	人数	概算時間	人数	概算時間	人数	概算時間
係長職	人	H	人	H	人	H	人	H
主事・主任職	1人	960 H	1人	960 H	1人	960 H	1人	960 H

②事業費

事業費の内訳(単位:千円)	平成29年度(現況)	平成30年度	平成31年度	平成32年度
事業費	56,555	55,144	65,694	55,694
人件費(係長職)				
人件費(主任・主事職)	3,196	3,196	3,196	3,196
総事業費(合計)	59,751	58,340	68,890	58,890
国庫支出金				
都支出金				
受益者負担額				
その他特定財源				
一般会計繰入金				
起債				
一般財源(人件費含む)	59,751	58,340	68,890	58,890
財源内訳(合計)	59,751	58,340	68,890	58,890

③コスト計算

ア 市民	55,710	人における1人あたりのコストは、	1,047	円
イ 対象者	194,326	人における1人あたりのコストは、	300	円
ウ 成果(物)		の 出来高		円
※ 対象者: 乗車する人すべて				

Do【実行】

5.実施結果

計画どおり完了 計画を見直し完了(次年度以降計画を見直す) 遅延 中断

①指示事項・改善

無	有	指示事項・改善内容
<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	

②活動実績

「羽村市コミュニティバスはむらん運営推進懇談会」を年間3回開催し、運行ルートや時刻の見直しを行うとともに、バス停を2か所増設した。

なお、年間利用者数は、200,369人と前年比15,434人増となり、順調に増加している。

【利用者数の推移】

<H26>16万7千585人・<H27>18万1千636人・<H28>18万6千918人・<H29>19万4千326人・<H30>20万9千760人

③投入実績

決算の内訳(単位:千円)	予算額(当初)	補正・流用額	予算額(最終)	決算額	執行率
事業費	55,144	2,661	57,805	57,630	99.7%

年間業務時間(人件費の目安)	当初計画		実績	
	人数	概算時間	人数	概算時間
係長職	1人	H	1人	H
主事・主任職	1人	960 H	1人	960 H

④事業量(活動量)

実施計画	今年度実績
○「羽村市コミュニティバスはむらん運営推進懇談会」の開催(3回)	○「羽村市コミュニティバスはむらん運営推進懇談会」の開催(3回)(6/29,10/26,2/22) ○新規バス停の設置(2か所)(江戸街道公園、さくらモール)

Check【評価】

6.事業の評価 S…より適切なもの A…適切なもの B…課題があり、今後、改善が必要なもの

項目	課長評価
妥(必要性) <input checked="" type="checkbox"/> 上位施策(基本目標・施策)を達成する為に必要な事業である <input type="checkbox"/> 今の社会情勢に見合う事業である <input checked="" type="checkbox"/> 利用者・対象者のニーズ(需要)がある <input type="checkbox"/> その他 ()	A
効(手法性) <input checked="" type="checkbox"/> 最少の人件費・事業費で事務が執行されている <input type="checkbox"/> 民間活力を活用している <input type="checkbox"/> 業務の進め方や手続きを簡略化・簡素化している <input type="checkbox"/> その他 ()	A
有(成果性) <input type="checkbox"/> 計画の事業量に達しなかった <input type="checkbox"/> 計画の事業量に達した <input checked="" type="checkbox"/> 計画以上の事業量を達成した <input type="checkbox"/> 事業の目標が達成された <input checked="" type="checkbox"/> 事業の効果が表れている <input type="checkbox"/> 施策の基本方針推進するうえで具体的な成果があった	S

7.「施策の基本方針」に対する本事業の評価

だれもが安全で自由に行動できる公共交通の充実のため、ルート見直しやバス停の新設、ベンチの設置などに努めてきたことから、年々利用者が増加している。市内における公共交通の重要さが増しており、本事業は今後も必要な事業と評価している。

Action【改善】

8.今後の方向性

現状のまま継続 レベルアップ 縮小 実施主体の見直し 休止・廃止 完了

【改善点】

【今後の取組方針】

引き続き、「羽村市コミュニティバスはむらん運営推進懇談会」で、運行ルートやネーミングライツの運用及び有効なサービスなど運営改善について検討し、市民生活の利便性の向上を図っていく。